

令和3年度事業報告書

I. 事業の概要

本財団の設立目的に添って令和3年度も、細胞科学分野における研究助成10件、国内若手研究者の育成助成として海外への留学4件、国際交流助成として国際学会等への研究者招聘5件を実施した。

令和4年度の各種助成のためにそれぞれの募集細目を検討・決定し募集を行った結果、研究助成54件、育成助成22件（うち3件は審査中に申請を取り下げ）、国際交流助成3件の応募があった。これらについて、選考委員会による厳正なる審査を行い、令和4年度助成対象者を選出した。また、平成31年度各種助成金贈呈者の研究成果として、研究助成報告、育成助成報告および国際交流助成報告等をまとめ、助成研究報告集を発刊した。

II. 事業の内容

1. 令和3年度助成金の交付

令和3年度各種助成については、研究助成10件、育成助成4件および国際交流助成5件が令和3年3月4日開催の令和2年度第3回理事会において議決承認された。令和3年4月より研究助成10件（1件300万円、総額3,000万円）、育成助成4件（1件240万円、総額960万円）および国際交流助成5件（1件40万円、総額200万円）のそれぞれに順次、助成金を交付した。〔資料1〕

2. 令和3年度研究助成金贈呈式の中止

令和3年度研究助成受領者を対象に研究助成金贈呈式を次のとおり予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を鑑み、開催を中止した。

開催日時：令和3年6月5日（土）午前11時30分より

場 所：ホテル阪急インターナショナル（大阪市北区茶屋町19-19）

3. 令和4年度助成事業

（1）各種助成の募集の細目

令和3年4月14日開催の企画委員会（Web開催）での検討を経て、令和3年5月7日の第1回理事会（書面決議）で以下のように決定した。

研究助成

募集テーマ：①A I の医学的・臨床的応用

②がんの分子標的：基礎と臨床

応募受付期間：令和3年9月1日から令和3年9月30日まで

専門委員：テーマ① 友池 仁暢（NTT 物性科学基礎研究所 物性研医療情報研究
プリンシパル、榊原記念病院 顧問）

中村 祐輔（公益財団法人がん研究会 がんプレジジョン医療
研究センター 所長）

[選考委員からの専門分野担当]

清水 孝雄（国立研究開発法人国立国際医療研究センター
プロジェクト長，東京大学名誉教授）

テーマ② 小川 誠司（京都大学大学院医学研究科 腫瘍生物学講座 教授）

間野 博行（国立研究開発法人国立がん研究センター理事・
研究所長・がんゲノム情報管理センター長）

[選考委員からの専門分野担当]

小池 和彦（公立学校共済組合関東中央病院 病院長）

※所属・役職は就任時

育成助成および国際交流助成

応募受付期間：令和3年9月1日から令和3年10月29日まで [資料2]

(2) 募集

研究助成

全国の国公立医学系、薬学系、一部の理学系大学、研究機関および大学附設の研究施設 170 余を対象に募集要項を郵送するほか財団ホームページに公開した結果、応募数は計 54 件（テーマ①：10 件、テーマ②：44 件）であった。

育成助成

理事および評議員に候補者の推薦を依頼するとともに財団ホームページに公開した結果、応募数は 22 件（海外）であった。（うち 3 件は審査中に申請取り下げ）なお、令和 4 年度より所属機関長・所属部門長（部長、専攻長等 ただし教授を除く）の推薦でも応募可とした。

国際交流助成

理事および評議員に候補者の推薦を依頼するとともに財団ホームページに公開し

た結果、応募数は3件（招聘）であった。

（3）選考

研究助成：三段階方式による選考

1. 令和3年10月12日～11月12日：テーマ別の選考委員および専門委員による第一次予備審査（書面）により第二次予備審査対象として18件（テーマ①：5件、テーマ②：13件）に絞られた。
2. 令和3年11月29日～令和4年1月12日：選考委員および専門委員による第二次予備審査（書面）が行われた。
3. 令和4年2月3日：本審査（以下の通り）

育成助成および国際交流助成

1. 令和3年11月29日～令和4年1月12日：選考委員による予備審査（書面）により採点。
2. 令和4年2月3日：本審査（以下の通り）

令和4年2月3日：本審査（Webによるテレビ会議）

開催日時：令和4年2月3日（木）午後3時より

場 所：細胞科学研究財団事務所（大阪府中央区道修町3-1-8）

選考委員および専門委員により令和4年度各種助成交付対象者（研究助成10件：1件300万円総額3,000万円、育成助成4件：1件240万円総額960万円および国際交流助成3件：1件30～50万円総額130万円）が選出され、理事長に答申された。令和4年3月4日に開催された第3回理事会において、原案通り議決承認された。

なお、理事会後に育成助成交付対象者1名より辞退の申し出があり、次点者も他財団より助成金を受けることが決まったため繰り上げ採択は不可となった。結果、育成助成の交付対象者は3件（総額720万円）となった。〔資料3〕

4. 助成研究報告集等

平成31年度各種助成金受領者の研究成果として、研究助成報告、育成助成報告および国際交流助成報告等をまとめた細胞科学研究財団助成研究報告集第32巻（令和3年）、および財団年報第33号（令和2年度）を一冊にまとめて「助成研究報告集・年報第6巻（令和3年）」として令和3年10月1日に発刊し、全国の国公私

立医学系、薬学系、一部の理学系大学、研究機関、大学附設の研究施設および国会図書館等に送付した。

Ⅲ. 財団運営の概況

1. 第1回理事会（理事会の決議の省略による方法）

理事長は、理事及び監事の全員に対して理事会の決議の目的である事項について次の内容の提案書を発送し、令和3年5月7日までに理事の全員から同意する旨の意思表示を、また監事全員から異議がない旨の承諾を得て当該事項が承認可決された。

第1号議題 令和2年度事業報告および令和2年度財務諸表の件：原案通り承認可決された。

第2号議題 令和4年度各種助成募集に関する件：原案通り承認可決された。なお、育成助成については、従来 of 財団理事または評議員の推薦に加え、所属機関長および所属部門長の推薦でも応募可とすることについても同意を得た。

第3号議題 令和3年度定時評議員会開催日、場所、目的である事項の件：原案通り承認可決された。

第4号議題 特定資産追加取得の件：原案通り承認可決された。

第5号議題 費用の弁償及び報酬に関する規則改定の件：原案通り承認可決された。

2. 定時評議員会（電話会議）

開催日時：令和3年6月2日（水）午後3時より

場 所：塩野義製薬株式会社 本社10階会議室（大阪府中央区道修町3-1-8）

第1号議題 議長選任の件：互選により花崎浩二氏が評議員会議長に選任された。

第2号議題 議事録署名人選任の件：議長のほか互選により澤田拓子氏および山野佳則氏が選任された。

第3号議題 令和2年度事業報告および令和2年度財務諸表の件：原案通り承認可決された。

第4号議題 特定資産追加取得の件：原案通り承認可決された。

報告事項 令和4年度各種助成募集について：令和3年度第1回理事会で承認されたことを報告した。

3. 第2回理事会（電話会議）

開催日時：令和3年6月2日（水）午後4時より

場 所：塩野義製薬株式会社 本社10階会議室（大阪府中央区道修町3-1-8）

第1号議題 定期提出書類の件：原案通り承認可決された。なお、剰余金については、令和3年度に公益目的保有財産として特定資産の取得に充当して費消することを報告した。

第2号議題 令和4年度助成金準備資金設置の件：原案通り承認可決された。

報告事項 理事長及び常務理事の業務執行状況報告：理事長及び常務理事は令和3年3月4日以降の業務執行状況報告を行った。

4. 第3回理事会（電話会議）

開催日時：令和4年3月4日（金）午後4時より

場 所：塩野義製薬株式会社 本社4階会議室（大阪府中央区道修町3-1-8）

第1号議題 令和4年度事業計画の件：原案通り承認可決された。

第2号議題 特定資産追加取得の件：原案通り承認可決された。

第3号議題 令和4年度収支予算の件：原案通り承認可決された。

第4号議題 資金調達及び設備投資の見込みについて：原案通り承認可決された。

第5号議題 令和4年度助成金準備資金取崩しの件：原案通り承認可決された。

第6号議題 令和4年度助成交付者の件：原案通り承認可決された。

第7号議題 選考委員任期満了に伴う改選及び選考委員長選定の件：原案通り承認可決された。

第8号議題 費用の弁償及び報酬に関する規則改定の件：原案通り承認可決された。

第9号議題 規定改定の件：原案通り承認可決された。

第10号議題 名誉委員長選任の件：原案通り承認可決された。

第11号議題 第三回塩野賞について：原案通り承認可決された。

第12号議題 評議員選任の件：原案通り承認可決された。

報告事項1 理事長及び常務理事の業務執行状況報告：理事長及び常務理事は令和3年度第2回理事会以降本日までの業務執行状況報告を行った。

報告事項2 企画委員任期満了に伴う改選について

報告事項3 新型コロナウイルス感染症拡大等に伴う交付済助成対象の内容変更について：新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、新たに学会等の開催が延期または内容変更となった国際交流助成4件、および留学開始が延期となった育成助成1件について報告を行った。また、招聘者が

体調不良により変更となった国際交流助成 1 件についても報告を行った。

5. その他

- 令和 3 年 6 月 21 日 内閣府に令和 2 度事業報告書等の定期提出書類を Web 提出した。
- 令和 4 年 3 月 24 日 高久史麿選考委員長ご逝去
- 令和 4 年 3 月 29 日 内閣府に令和 4 年度事業計画および予算の定期提出書類を Web 提出した。

IV. 添付資料

- 〔資料 1〕 令和 3 年度各種助成金受領者名簿
- 〔資料 2〕 令和 4 年度各種助成募集要項
- 〔資料 3〕 令和 4 年度各種助成金受領者名簿

以上

令和3年度 研究助成金受領者
(第3回理事会において議決)

(1件300万円 10件, 計3,000万円)

テーマ1：新興・再興感染症

研究者	所属機関・職名	研究題目
加藤 哲久 カウ アキヒサ	東京大学医科学研究所 感染・免疫部門 ウイルス病態制御分野・助教	非標準的ウイルス遺伝子解読法の広域ウイルスへの水平展開
河部 剛史 カワベ タケシ	東北大学大学院医学系研究科 病理病態学講座 免疫学分野・助教	新規の自然免疫型T細胞をターゲットとした新たな感染症治療戦略
櫻井 雅之 サクライ マサユキ	東京理科大学 研究推進機構生命医科学研究所・講師	イノシンへのアデノシン塩基脱アミノ化編集を利用した抗ウイルス核酸戦略の開発
原 英樹 ハラ ヒデキ	慶應義塾大学医学部 微生物学免疫学・特任准教授	マクロファージの炎症応答による感染増悪機構の解明
星野 温 ホシノ アツシ	京都府立医科大学大学院医学研究科・学内講師	Deep Mutational ScanningによるSARS-CoV-2 スパイク蛋白の網羅的感染能評価

テーマ2：糖尿病をめぐる最新の動向

研究者	所属機関・職名	研究題目
五十嵐 正樹 イガラン マサキ	東京大学医学部附属病院 糖尿病・代謝内科・助教	腸管上皮細胞の細胞老化に着目した高齢者糖尿病の病態解明
菅原 健二 スガワラ ケンジ	神戸大学医学部附属病院 糖尿病・内分泌内科・助教	メトホルミンによる腸管内腔へのグルコース排泄機構の解明
NAWAZ Allah ナワズ アラー	富山大学医学部 分子医科薬理学・助教	インスリン感受性調節におけるM2様マクロファージと前駆脂肪細胞の相互作用機構
長谷川 頌 ハセガワ ショウ	東京大学大学院医学系研究科・腎臓内科学・学振PD 特別研究員	糖尿病性腎臓病における小胞体・ミトコンドリア連関のメカニズム解明
福嶋 葉子 フクシマ ヨウコ	大阪大学大学院医学系研究科 眼免疫再生医学共同研究講座・特任講師 (常勤)	糖尿病網膜症モデルマウスを用いた新規ノンコーディングRNAを標的とする治療法の開発

令和3年度 育成助成金受領者
(第3回理事会において議決)

(1件 240万円 4件, 960万円)

(海外)

研究者	所属機関名・職名	研究題目・留学先
大町 紘平 オマチ コウヘイ	Washington University in St. Louis School of Medicine Division of Nephrology・ Postdoctoral research scholar	In vivo CRISPR を用いた時空間的な基底膜 構成分子の発現制御による糸球体恒常性維 持機構の解明 Washington University in St. Louis
関谷 博顕 セキヤ ヒロアキ	神戸大学医学部附属病院 脳神経内科・助教	病理学とゲノム解析の融合によるパーキン ソン病における α シヌクレインオリゴマー の神経細胞毒性機序の解明 Mayo clinic
櫛川 舞 ハヅカ マイ	福岡大学薬学部・助教	自己組織化ペプチドで指向性制御する次世 代カスタム核酸医薬の開発 ライデン大学
三宅 優一郎 ミヤケ ユウイチロウ	順天堂大学医学部附属順 天堂医院 小児外科・小児 泌尿生殖器外科・助教	環状 RNA を観点とした横隔膜ヘルニアにお ける肺低形成の病態解明 University of Manitoba

令和3年度 国際交流助成金受領者
(第3回理事会において議決)

(1件40万円 5件, 200万円)

(招聘)

招聘者名 所属機関	被招聘者名 所属機関	国際学会名・招聘研究機関名 期間・開催地
窪田 芳之 クボタ ヨシユキ 自然科学研究機構 生 理学研究所 基盤神経 科学研究領域 大脳神 経回路論研究部門	Jackie Schiller Technion Medical School	自然科学研究機構 生理学研究所 2021/10/01 ~ 2021/11/30 愛知県岡崎市明大寺町東山5-1
鈴木 洋 スズキ ヒロシ 名古屋大学大学院医学 系研究科 分子腫瘍学	Phillip A. Sharp Massachusetts Institute of Technology	第94回日本生化学大会 2021/11/03 ~ 2021/11/05 横浜
尾藤 晴彦 ビトウ ハルヒコ 東京大学大学院医学系 研究科 脳神経医学専 攻 神経生化学分野	Eleanor Maguire University College London	第44回日本神経科学大会 2021/07/28 ~ 2021/07/31 神戸コンベンションセンター
山田 修平 ヤマダ シュウヘイ 名城大学薬学部	Stephen Peter Robertson オタゴ大学	日本薬学会第142年会 2022/03/25 ~ 2022/03/28 名古屋
和中 明生 ワカ アキオ 奈良県立医科大学 解 剖学第二講座	森下 博文 マウントサイナイ医科大 学	第64回日本神経化学会大会 2021/09/30 ~ 2021/10/01 奈良市

令和
4
年度

公益財団法人 細胞科学研究財団

研究助成 募集要項

1. 研究助成の対象となる
テーマ： 病因、病態の解明および疾病の予防、制御に寄与する細胞科学に関する研究。
但し、本年度の助成研究対象分野として下記のテーマを指定いたします。
- ①「AIの医学的・臨床的応用」
②「がんの分子標的：基礎と臨床」
2. 助成金額： 300万円/1件
採択件数： 10件以内
3. 応募資格： 国内の研究機関等に所属する令和3年9月1日現在満45才未満の独立した研究者
(大型研究費を受けておられる方はご遠慮ください)
4. 応募方法： (1) Web システムよりご応募ください。
詳しくは財団ホームページの申請方法をご覧ください。
(2) 必ず、所属機関の長（学長、学部長、学校長、所長、病院長、センター長等）
あるいは所属部門の長（教授、部長、専攻長等）の推薦を得てください。
推薦者は1名に限り推薦できます。ただし、推薦者が複数の機関に所属し
役職を有する場合には、それぞれの所属機関あるいは所属部門から1名に
限り推薦できます。
(3) 推薦状はWeb申請システムからダウンロードできます。
5. 応募受付期間： 令和3年9月1日（水）より9月30日（木）
6. 選考方法： 当財団選考委員会において選考し、理事会で決定いたします。
7. 報告義務： 収支報告および研究成果の概要を提出していただきます。
8. 情報公開について： 助成対象者のお名前、ご所属、研究題目等を当財団ホームページ等で紹介させて
いただきます。
研究成果は当財団刊行の研究報告集で公表いたします。
9. 採否通知および
助成金の交付について： 採否は決定後直ち（令和4年3月頃）に申請者へお知らせいたします。
助成金は令和4年4月以降に贈呈いたします。
10. 連絡先： 公益財団法人 細胞科学研究財団
〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目1番8号
TEL：06-6202-2139 FAX：06-6202-1996

さいぼうかがくけんきゅうざいだん

検索

または右記 QR コード



※ご提供いただきました個人情報につきましては、選考に関わる目的のみに利用させていただきます。

令和
4
年度

公益財団法人 細胞科学研究財団

育成助成 募集要項

1. 育成助成対象者：

病因、病態の解明および疾病の予防、制御に寄与する細胞科学に関する研究を専門とする日本人の研究者で、国内外において更に高度の育成を受けようとするもののうち次の条件を満たす者とします。

イ. 当財団理事または評議員あるいは所属機関長・所属部門長(部長、専攻長等ただし教授を除く)の推薦を受けた者

(各理事、評議員あるいは所属機関長・所属部門長は1名に限り推薦できます)

ロ. 令和3年9月1日現在 満40才以下の研究者

ハ. 受入れ大学または学術研究機関が決定し、年度内(令和4年4月以降令和5年3月末までの間)にその育成の開始が予定されている者(国内育成に関しては、他大学または学術研究機関での育成を受ける場合に限り)

ニ. 原則として1年以上の育成期間を予定している者

ホ. 同一の研究において他機関からの助成金が、海外：120万円、国内：60万円以下の場合重複を認めず。

ヘ. 留学先の変更は認められません。

2. 給付金額：

1件 240万円まで/年 (国内は1件 120万円まで/年)

採択件数：

4件程度

3. 給付期間：

1年間

4. 応募方法：

(1) Webシステムよりご応募ください。

詳しくは財団ホームページの申請方法をご覧ください。

(2) 推薦状はWeb申請システムからダウンロードできます。

5. 応募受付期間：

令和3年9月1日(水)より10月29日(金)

6. 選考方法：

当財団選考委員会において選考し、理事会で決定いたします。

7. 報告義務：

収支報告および留学報告書を提出していただきます。

8. 情報公開について：

助成対象者のお名前、ご所属、研究題目等を当財団ホームページ等で紹介させていただきます。

研究成果は当財団刊行の研究報告集で公表いたします。

9. 採否通知および 助成金の交付について：

採否は決定後直ち(令和4年3月頃)に申請者へお知らせいたします。

助成金は令和4年4月以降に贈呈いたします。

10. 連絡先：

公益財団法人 細胞科学研究財団

〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目1番8号

TEL：06-6202-2139 FAX：06-6202-1996

さいぼうかがくけんきゅうざいだん

検索

または右記 QR コード



※ご提供いただきました個人情報につきましては、選考に関わる目的のみに利用させていただきます。

令和
4
年度

公益財団法人 細胞科学研究財団

国際交流助成 募集要項

1. 国際交流助成対象者：

病因、病態の解明および疾病の予防、制御に寄与する細胞科学に関する研究を専門とする研究者で、次の条件を満たす者といたします。

- イ. 当財団理事または評議員の推薦を受けた者
(各理事または評議員は1名に限り推薦できます)
 - ロ. 博士号を有するか、またはそれと同等以上の研究業績を有する者
 - ハ. 年度内（令和4年4月以降令和5年3月末までの間）に開催される細胞科学に関連した国内外での国際学術会議、シンポジウムに講演者として招聘される海外在住の研究者または重要な研究発表を行う国内在住の研究者
- ニ. 国際間における共同研究またはそのための協議等も上記学会への参加に準ずるものといたします。

2. 助成金額：

20～50万円／1件 総額200万円
(助成額は学会への寄与の程度、開催地の遠近、開催期間の長短等を勘案して決定されます。希望助成額の大まかな内訳をご記入ください)

3. 応募方法：

- (1) Web システムよりご応募ください。
詳しくは財団ホームページの申請方法をご覧ください。
- (2) 推薦状はWeb申請システムからダウンロードできます。

4. 応募受付期間：

令和3年9月1日（水）より 10月29日（金）

5. 選考方法：

当財団選考委員会において選考し、理事会で決定いたします。

6. 報告義務：

収支報告および学会出張報告書等を提出していただきます。

7. 情報公開について：

助成対象者のお名前、ご所属等を当財団ホームページ等で紹介させていただきます。
講演内容あるいは研究成果は当財団刊行の研究報告集で公表いたします。

8. 採否通知および 助成金の交付について：

採否は決定後直ち（令和4年3月頃）に申請者へお知らせいたします。
助成金は令和4年4月以降に贈呈いたします。

9. 連絡先：

公益財団法人 細胞科学研究財団
〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目1番8号
TEL：06-6202-2139 FAX：06-6202-1996

さいぼうかがくけんきゅうざいだん

検索

または右記 QR コード



※ご提供いただきました個人情報につきましては、選考に関わる目的のみに利用させていただきます。

令和4年度 研究助成金受領者
(第3回理事会において議決)

(1件300万円 10件, 計3,000万円)

テーマ1: AIの医学的・臨床的応用

研究者	所属機関・職名	研究題目
猪俣 武範 イノマタ タケリ	順天堂大学 医学部眼科学講座・准教授	マルチオミクス機械学習によるドライアイの局所炎症環境下における免疫細胞の時空間制御の解明
魏 菲菲 ウェイ フェイウェイ	神奈川県立病院機構神奈川県立がんセンター 臨床研究所がん免疫療法研究開発学部・特任研究員	人工知能を用いたがん免疫治療応答指数に関わる末梢血可溶性因子・免疫細胞の同定および層別化予測ツールの開発

テーマ2: がんの分子標的: 基礎と臨床

研究者	所属機関・職名	研究題目
大石 篤郎 オオイシ アツロウ	杏林大学 医学部肉眼解剖学教室・講師	Orphan Receptor を分子標的とした新規がん治療の探索
籠谷 勇紀 カゴヤ ユウキ	愛知県がんセンター 研究所 腫瘍免疫応答研究分野・分野長	T細胞の細胞傷害作用への耐性メカニズムの理解に基づくがん免疫細胞療法の賦活化
片山 量平 カタヤマ リョウヘイ	がん研究会 がん化学療法センター 基礎研究部・部長	がん分子標的療法残存腫瘍におけるがん免疫微小環境の解析
鈴木 啓道 スズキ ヒロミチ	国立がん研究センター 研究所 脳腫瘍連携研究分野・分野長	U1 snRNA 変異によるRNA異常プロセスの解明と髄芽腫の病態の解明
中村 康平 ナカムラ コウヘイ	慶應義塾大学医学部 腫瘍センター ゲノム医療ユニット・特任助教	オルガノイド培養・全エクソン解析を用いた類内膜癌、明細胞癌の内膜症起源説に基づく発癌機序の解明
船戸 洋佑 フナト ヨウスケ	大阪大学微生物病研究所 細胞制御分野・助教	がんの分子標的PRLによるリソソーム膜動態の制御
山本 恵介 ヤマモト ケイスケ	東京大学医学部附属病院 消化器内科・助教	サイクリン依存性キナーゼによる転写制御機構を標的とした新規膀胱癌治療法の開発
渡部 昌 ワタベ マサシ	北海道大学大学院医学研究院 医化学教室・講師	がんドライバーユビキチンリガーゼの基質探索による創薬基盤の確立

令和4年度 育成助成金受領者
(第3回理事会において議決)

(1件 240万円 3件, 720万円)

(海外)

研究者	所属機関名・職名	研究題目・留学先
小林 記緒 コハヤシ ノリオ	東北大学大学院医学系 研究科 情報遺伝学分 野・助教	ヒト羊膜細胞系譜の運命決定機構と抗炎症 機能因子の解明 University of Michigan
杉本 敦史 スギモト アツシ	大阪市立大学大学院 消 化器外科・大学院生	Role of Cancer-Associated Fibroblasts in Cholangiocarcinoma Columbia University
樽谷 愛理 タニ アリ	東京都医学総合研究所 脳・神経科学研究分野・ 協力研究員	クライオ電子線トモグラフィー法を用いた 異常型 α シヌクレイン蓄積機構の解明 University Medical Center Gottingen

令和4年度 国際交流助成金受領者
(第3回理事会において議決)

(1件 30～50万円 3件, 130万円)

(招聘)

招聘者名 所属機関	被招聘者名 所属機関	国際学会名・招聘研究機関名 期間・開催地	助成金額
今本 尚子 イマト ナホ 理化学研究所 開拓 研究本部 今本細胞 核機能研究室	Ulrike Kutay ETH Zurich Institute for biochemistry	第74回日本細胞生物学会大会 2022/06/28～2022/06/30 タワーホール船堀 東京都江戸川区船堀 4-1-1	50万円
角田 茂 カタ シゲル 東京大学大学院農学 生命科学研究科 実 験動物学研究室	Glen N. Barber Sylvester Cancer Center University of Miami Miller School of Medicine	JSICR/MMCB 2022 Joint Symposium 2022/06/08～2022/06/12 東京都文京区弥生 1-1-1	30万円
銅谷 賢治 ドウヤ ケンジ 沖縄科学技術大学院 大学 神経計算ユニ ット	Erin M. Schuman マックスプランク脳研 究所	NEURO2022 2022/06/30～2022/07/03 沖縄県宜野湾市真志喜 4-3-1	50万円

前記のとおりご報告いたします。

令和4年6月

公益財団法人 細胞科学研究財団

理事長 塩野元三